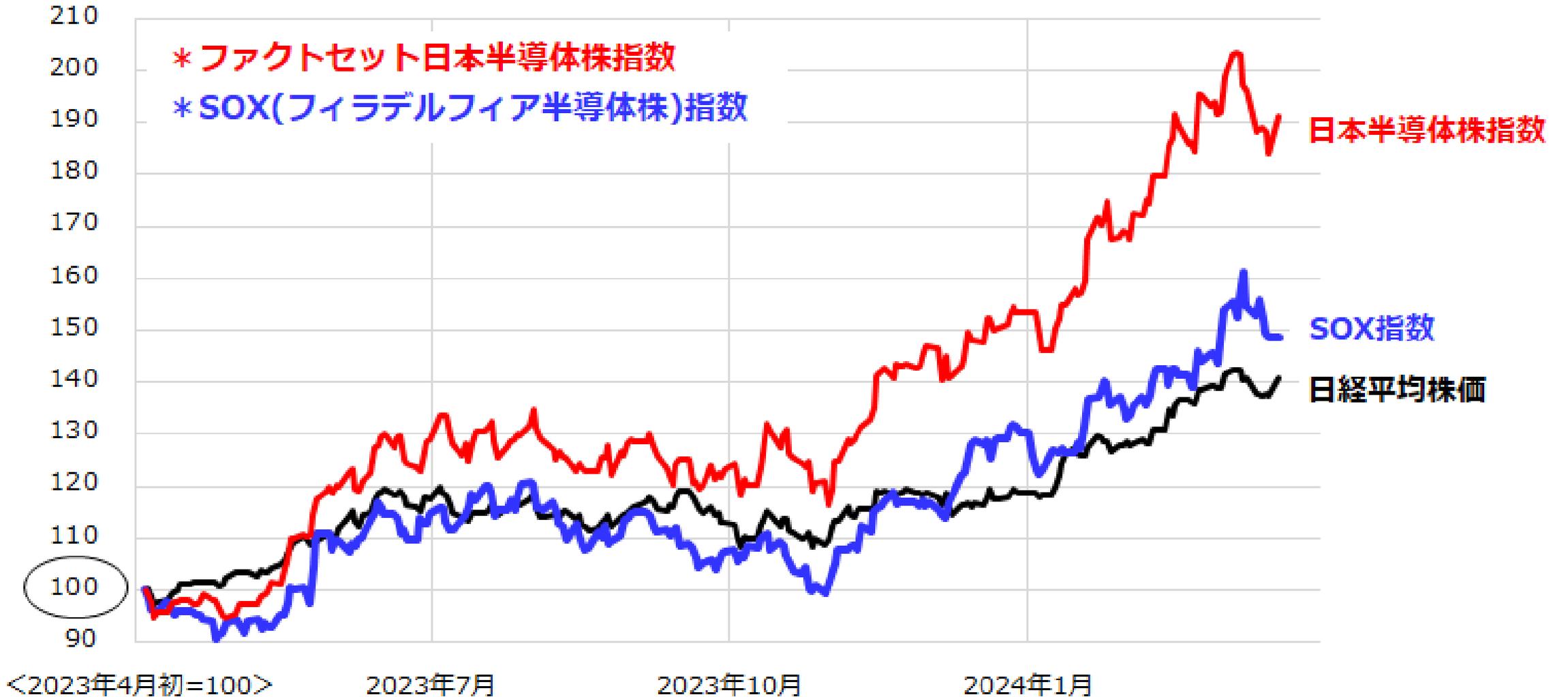


日米半導体株の調整は一巡するか

日米市場の半導体株指数推移（2023年4月初=100）



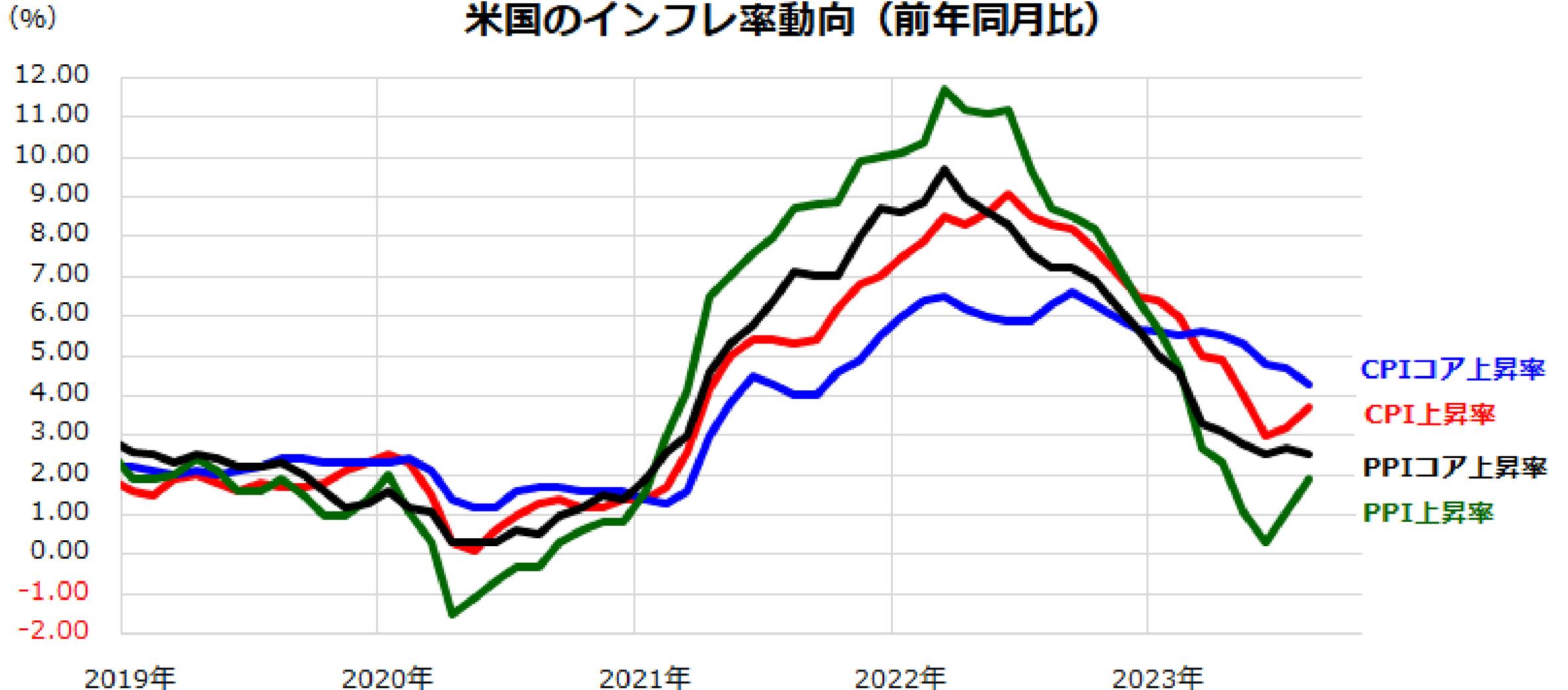
米国市場は債券金利の反転上昇を警戒

米国市場の債券金利と株価の推移

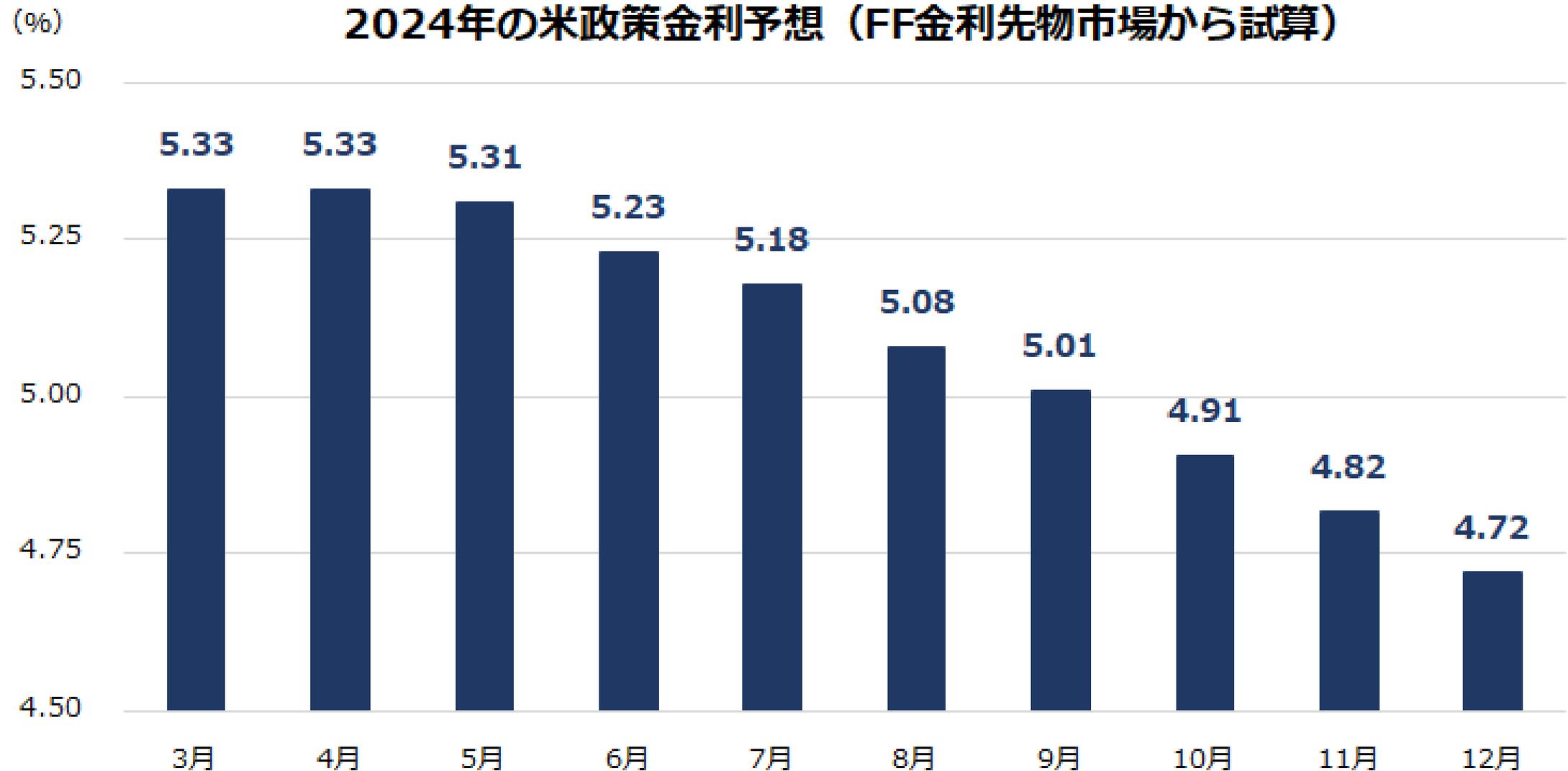


物価上昇率の減速傾向に一服感も

米国のインフレ率動向（前年同月比）



市場はFOMCと経済・金利見通しを警戒



(出所) Bloombergより楽天証券経済研究所作成

米国市場の循環物色は東証に波及するか

業種別の騰落率と予想PER



株価指数名 (S&P業種別株価指数)	年初来 騰落率	1カ月前比 騰落率	24年予想 PER(倍)	25年予想 PER(倍)	26年予想 PER(倍)
エネルギー	8.8%	7.2%	12.8	11.5	11.2
素 材	5.9%	6.5%	21.9	19.3	17.5
コミュニケーションサービス	14.4%	4.0%	19.4	17.0	15.5
生活必需品	5.8%	3.8%	20.4	19.0	17.7
公益事業	-0.2%	3.7%	15.6	14.4	13.5
IT (情報技術)	11.2%	3.5%	37.7	29.4	24.9
資本財・サービス	7.0%	3.4%	21.6	19.1	17.3
金 融	8.6%	3.3%	16.0	14.8	14.1
不動産	-3.1%	1.2%	35.8	32.3	29.3
一般消費財・サービス	1.8%	0.3%	24.6	21.5	18.8
ヘルスケア	6.3%	-0.3%	19.3	17.4	15.9
S&P500種指数	8.0%	2.9%	21.4	19.0	17.5

米国市場のリスク要因を警戒

#	潜在的リスク	警戒されている不確実性の概略
1	金利再上昇リスク	インフレが収束せずFRBは金融引き締めを続けるか。債券金利が上昇するとテック系グロース株のバリュエーションが悪化して株価が下落する可能性。
2	景気後退リスク	金融引き締めの累積効果で米国経済は景気後退に陥るか。商業用不動産市況悪化が地銀の財務を圧迫する可能性。消費者信用で延滞率が上昇する兆候も。
3	地政学リスク	ウクライナ戦争長期化に伴う世界経済への影響。ロシア軍による戦術核兵器の使用。中東情勢の緊張激化に伴う原油相場の反転上昇。朝鮮半島の緊張など。
4	ワシントンリスク	上下両院議会のねじれで債務上限問題が再燃しかねない。11月大統領選挙に向けトランプ氏の返り咲きが優勢になると「ほぼトラ・リスク」で揺れる可能性。
5	中国リスク	不動産バブル崩壊を発端とする長期構造不況で景気回復とん挫。台湾海峡の緊張。「新・冷戦」による米中対立激化で企業業績が被る影響に警戒を要する。